社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年07月16日

計画の名称	安全・安心で快適な都市公園づくり(防災・安全)											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	富士市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画(H25.3策定)に基づき、遊具等の改築更新を実施し、安全で安心して利用できる公園とする。 要避難地区における避難の困難な地域の解消を図るため、富士市地域防災計画に避難地として位置づけられている原田公園及び富士西公園の整備を進め、収容能力の増強を図る。 											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	305	A	305	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	・公園施設長寿命化計画に従い、令和4年度までの2年間で緊急度の高い、判定基準C以上の公園施設の改築・更新の達成率を21%に増加させる。 改築・更新を必要とする緊急度の高い(判定基準C以上)公園施設における更新達成率 公園施設の更新達成率 = 長寿命化対策済公園施設数(76基 153基) / 長寿命化対策が必要な公園施設数(737基)	10%	%	21%
2	・避難圏域内の人口に対する、原田公園(一次避難地)の供用有効面積の収容可能人口の割合(収容可能人口 = (有効面積) / 2㎡(一人あたり))を74%に増加させる。 原田公園の避難圏域内の人口における収容可能人口の割合 避難域内の人口(18,146人)に対する収容可能人口の割合 = (供用有効面積の収容可能人口) / (避難域人口) (原田公園)	69%	%	74%
3	・避難圏域内の人口に対する、富士西公園(一次避難地)の供用有効面積の収容可能人口の割合(収容可能人口 = (有効面積) / 2㎡(一人あたり))を82%に増加させる。 富士西公園の避難圏域内の人口における収容可能人口の割合 避難域内の人口(18,969人)に対する収容可能人口の割合 = (供用有効面積の収容可能人口) / (避難域人口) (富士西公園)	61%	%	82%

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	富士市	直接	富士市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(5か年老朽)	健全度D判定等の緊要な対応が必要な公園施設の改築 N=28公園	富士市						90		策定済
	A12-002	公園	一般	富士市	直接	富士市	-	-	都市公園事業(原田公園)(5か年防公)	災害時に避難地となる防災公園整備 A=5.0ha	富士市						20	1.49	-
	A12-003	公園	一般	富士市	直接	富士市	-	-	都市公園事業(富士西公園)(5か年防公)	災害時に避難地となる防災公園整備 A=6.8ha	富士市						100		-
	A12-004	公園	一般	富士市	直接	富士市	-	-	公園施設長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定	富士市						28		-
	A12-005	公園	一般	富士市	直接	富士市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	健全度D判定等の緊要な対応が必要な公園施設の改築 N=28公園	富士市						21		策定済
	A12-006	公園	一般	富士市	直接	富士市	-	-	都市公園事業(原田公園)	災害時に避難地となる防災公園整備 A=5.0ha	富士市						46	1.49	-

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-007	公園	一般	富士市	直接	富士市	-	-	都市公園事業(富士西公園)	災害時に避難地となる防災公園整備 A=6.8ha	富士市						0	-		
												小計						305		
												合計						305		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 事業主体により実施	事後評価の実施時期 令和7年4月 公表の方法 富士市ウェブサイトによる
------------------------	--

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化対策支援事業では、計画する77基の改築・更新を実施し、公園施設長寿命化計画の進捗を図るとともに、利用者の安全度が向上している。 都市公園事業（原田公園）では、富士市地域防災計画に位置付ける広域避難地の整備を進め、供用有効面積の増加により726人の収容人口を増加させることができた。 都市公園事業（富士西公園）では、富士市地域防災計画に位置付ける広域避難地の整備を進め、供用有効面積の増加により3,983人の収容人口を増加させることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園事業（原田公園）では、地区の中心的施設である原田公園の供用区域が拡充されたことで、市民の憩いの場となる都市計画公園の整備を進めることができた。 都市公園事業（富士西公園）では、地区の中心的施設である富士西公園の全面供用がなされたことで、市民の憩いの場となる都市計画公園の整備が進んだことに加え、洪水時に避難者が自家用車内での安全確保を図ることを目的とした「洪水時車いっとき避難場所」に指定され、一時避難者と車両の受け入れにより、減災に寄与している。

特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化対策支援事業は、令和5年度より新たな整備計画に基づく遊具の改築・更新を進めており、継続した事業進捗が図られている。 都市公園事業（原田公園）は、都市計画公園区域の完成を目指し地元や地権者との調整を行うため、整備事業は一時休止とするが、再開した後は更なる避難者の収容能力増強を図る。 都市公園事業（富士西公園）は、都市計画公園区域の全域が完成したため、整備事業を終了する。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	21%
	最終実績値	21%
2	最終目標値	74%
	最終実績値	73%
隣接する次期事業区域との取合い調整として、区域内に傾斜地を設け高低差を処理したが、この傾斜のり面が避難者収容に有効とは言えず、有効面積360m2余を減じたため目標の達成には至らなかった。		
3	最終目標値	82%
	最終実績値	82%